

令和2年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

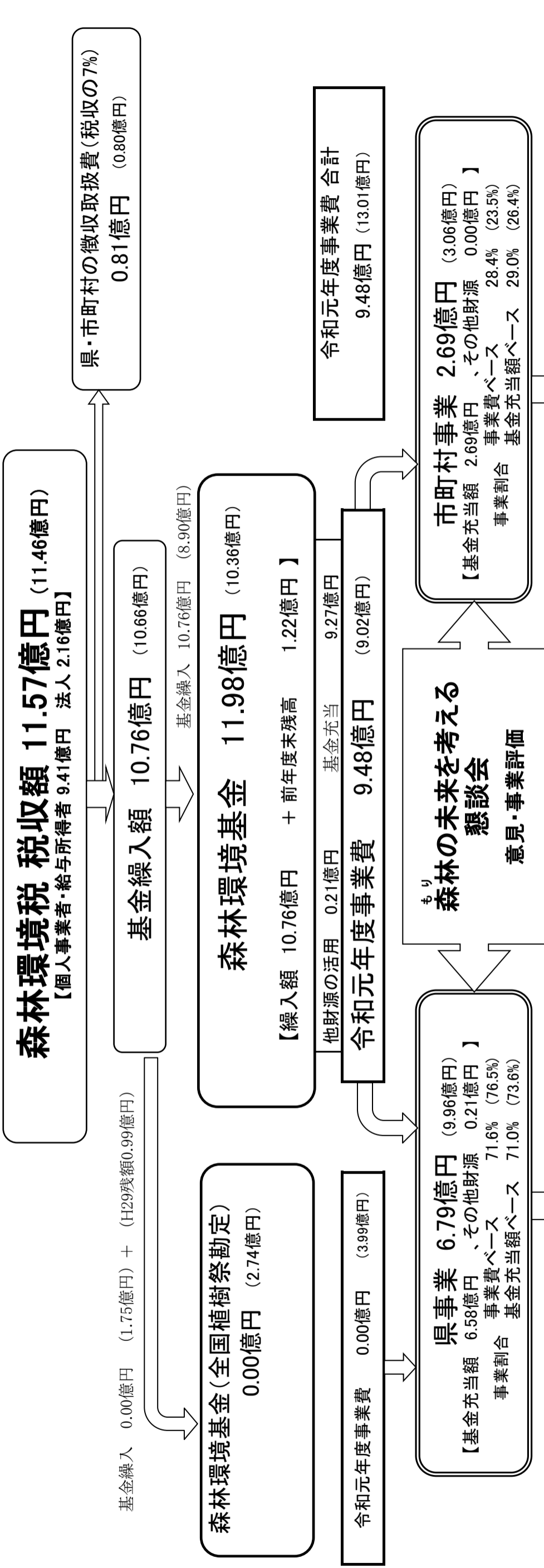
令和元年度森林環境基金事業の 実績について

- 令和元年度森林環境基金事業の枠組(実績)
- 令和元年度森林環境基金事業 実績一覧表
- 令和元年度森林環境基金事業の実績について

令和2年8月25日

福島県農林水産部森林計画課

令和元年度森林環境基金事業の枠組(実績)



<p>森林環境を保全するための事業 626,109千円 (542,881千円)</p> <p>1 森林環境の適正な保全 426,895千円 (366,736千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 森林の若返りや広葉樹林化のための再造林の支援 里山林の環境整備 施業集約化を促進するための支援 森林クラウドの整備による森林情報の高度化、共有化 	<p>森林環境を醸成するための事業 52,506千円 (452,239千円)</p> <p>4 県民参画の推進 38,971千円 (439,523千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林環境学習に必要なフィールドの整備 指導者の育成や森林ボランティアサポーターセンターの運営等 森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 県立学校における森林環境学習等 幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等 流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 森林環境情報の発信や森林づくり活動の拡大 ふくしま植樹祭の開催 	<p>森林環境を醸成するための事業 187,030千円 (189,725千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 187,030千円 (189,725千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) <ul style="list-style-type: none"> ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
<p>森林資源の活用による持続可能な社会づくり 199,214千円 (176,145千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 間伐材の搬出・運搬支援 森林整備を促進するための路網整備 木質バイオマス利用促進 CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR 公共施設の木質化と木育活動の推進 木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 地域に適した技術の継承による森林資源の活用 	<p>森林環境を醸成するための事業 82,120千円 (116,394千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 82,120千円 (116,394千円)</p> <p>(事業の対象分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 	<p>森林環境を醸成するための事業 187,030千円 (189,725千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 187,030千円 (189,725千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) <ul style="list-style-type: none"> ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
<p>森林環境の調査 1,350千円 (1,306千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林の公益的機能の調査と発信 	<p>森林環境を醸成するための事業 52,506千円 (452,239千円)</p> <p>5 ふくしまの森林文化の継承 9,982千円 (10,749千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組 	<p>森林環境を醸成するための事業 187,030千円 (189,725千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 187,030千円 (189,725千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) <ul style="list-style-type: none"> ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
<p>森林環境基金の運営 2,203千円 (661千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林の未来を考える懇談会の開催 	<p>森林環境を醸成するための事業 82,120千円 (116,394千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 82,120千円 (116,394千円)</p> <p>(事業の対象分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 	<p>森林環境を醸成するための事業 187,030千円 (189,725千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 187,030千円 (189,725千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) <ul style="list-style-type: none"> ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進

※()書きの金額及び割合は平成30年度実績

令和元年度森林環境基金事業 実績一覽表

単位:千円

施策区分	事業名 (小事業名)	担当課(室)	令和元年度事業実績		平成30年度事業実績		増減		基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備考	
			事業費	財源内訳 基金繰入金(a) 国庫等	事業費	財源内訳 基金繰入金(b) 国庫等	事業費	財源内訳 基金繰入金 国庫等			
1	森林環境の適正な保全 (1)森林整備事業 【植】(森林整備事業) (森林資源造成支援事業) (2)里山林整備事業 (3)森林整備地域活動支援交付金事業 (4)【植】森林環境適正管理事業 (5)国伐材搬出支援事業 (6)【材】(木材製品需要拡大技術導入事業) (ふくしまの未来を背負い手づくり事業) (ふくしまの未来を背負い手づくりのホント事業) (8)【材】(木製食品づくり事業) (9)地域林業技術伝承事業		426,895	405,749 21,146	366,736	364,420 2,316	60,159	41,329 18,830	111.3%		
2	森林資源の活用による持続可能な社会づくり (1)森林整備事業 【植】(森林整備事業) (森林資源造成支援事業) (2)里山林整備事業 (3)森林整備地域活動支援交付金事業 (4)【植】森林環境適正管理事業 (5)国伐材搬出支援事業 (6)【材】(木材製品需要拡大技術導入事業) (ふくしまの未来を背負い手づくり事業) (ふくしまの未来を背負い手づくりのホント事業) (8)【材】(木製食品づくり事業) (9)地域林業技術伝承事業		325,390	325,390 0	325,390	325,390 0	0	0 0	99.5%		
3	市民参画の推進 (1)花粉のふりかけ(森林づくり事業) (2)林業普及推進事業 (3)森林環境学習の森整備事業 (4)【材】(木材製品需要拡大技術導入事業) (ふくしまの未来を背負い手づくり事業) (5)【材】(木製食品づくり事業) (6)【材】(木製食品づくり事業) (7)【材】(木製食品づくり事業) (8)【材】(木製食品づくり事業) (9)【材】(木製食品づくり事業)		187,030	187,030 0	189,725	189,725 0	0	0 0	98.6%		
4	市民参画の推進 (1)花粉のふりかけ(森林づくり事業) (2)林業普及推進事業 (3)森林環境学習の森整備事業 (4)【材】(木材製品需要拡大技術導入事業) (ふくしまの未来を背負い手づくり事業) (5)【材】(木製食品づくり事業) (6)【材】(木製食品づくり事業) (7)【材】(木製食品づくり事業) (8)【材】(木製食品づくり事業) (9)【材】(木製食品づくり事業)		38,971	38,960 11	439,523	301,229 138,294	0	0 0	12.9%		
5	ふくしまの森林文化の継承 (1)森林環境学習の森整備事業 (2)【材】(木材製品需要拡大技術導入事業) (ふくしまの未来を背負い手づくり事業) (3)【材】(木製食品づくり事業) (4)【材】(木製食品づくり事業) (5)【材】(木製食品づくり事業) (6)【材】(木製食品づくり事業) (7)【材】(木製食品づくり事業) (8)【材】(木製食品づくり事業) (9)【材】(木製食品づくり事業)		2,339	2,339 0	2,430	2,430 0	0	0 0	96.3%		
6	森林環境の調査 (1)森林環境調査(森林環境調査) (2)森林環境調査(森林環境調査) (3)森林環境調査(森林環境調査) (4)森林環境調査(森林環境調査) (5)森林環境調査(森林環境調査) (6)森林環境調査(森林環境調査) (7)森林環境調査(森林環境調査) (8)森林環境調査(森林環境調査) (9)森林環境調査(森林環境調査)		1,350	1,350 0	1,306	1,306 0	0	0 0	103.4%		
7	森林環境基金の運営 (1)森林環境基金(森林環境基金) (2)森林環境基金(森林環境基金) (3)森林環境基金(森林環境基金) (4)森林環境基金(森林環境基金) (5)森林環境基金(森林環境基金) (6)森林環境基金(森林環境基金) (7)森林環境基金(森林環境基金) (8)森林環境基金(森林環境基金) (9)森林環境基金(森林環境基金)		947,765	926,608 21,157	1,301,239	1,160,629 140,610	0	0 0	79.8%		
計			947,765	926,608 21,157	902,479	900,152 2,327	0	0 0	102.9%		
(充当勘定別内訳)			0	0 0	398,760	260,477 138,283	0	0 0	普減		
○基金積立予算			積立額	一般財源 2,976	積立額	一般財源 1,063,817	積立額	一般財源 9,350	100.9%		
			1,076,102	2,976	1,063,817	1,063,776	12,285	9,350	100.9%		
			1,076,102	2,976	963,776	963,776	112,326	890,064	112	111.3%	
			0	0	100,041	100,000	41	175,372	25	普減	
○基金積立予算			積立額	一般財源 2,976	積立額	一般財源 1,063,817	積立額	一般財源 9,350	100.9%		
			1,076,102	2,976	1,063,817	1,063,776	12,285	9,350	100.9%		
			1,076,102	2,976	963,776	963,776	112,326	890,064	112	111.3%	
			0	0	100,041	100,000	41	175,372	25	普減	
計			947,765	926,608 21,157	1,301,239	1,160,629 140,610	0	0 0	79.8%		
(充当勘定別内訳)			0	0 0	398,760	260,477 138,283	0	0 0	普減		

令和元年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する。

○令和元年度実績

- ・ 森林整備事業 間伐915ha (H30実績：947ha)
林業事業体による水源区域等で荒廃が懸念される森林の整備を支援した。
- ・ 森林資源造成支援事業 再造林等35ha (H30実績：71ha)
下刈り 1ha
水源区域等の広葉樹林化などの多様な森林資源へ誘導するための再造林等を支援した。



森林整備（間伐）実施後状況



苗木の植栽

○累計実績（平成18～令和元年度）

- ・ 森林整備事業 19,969ha (H18～H27 15,911ha H28～R1 4,058ha)
- ・ 森林整備促進事業 8,350ha (H18～H27)
- ・ 森林資源造成支援事業 194ha (H28～R1)

事業成果

令和元年度までの14年間に荒廃が懸念される森林19,969ha(猪苗代湖の面積約1.9個分)の間伐を実施したことにより、水源かん養や山地災害防止など森林の有する公益的機能が向上し、水源区域森林の機能維持に寄与することが期待される。
また、水源区域や水源かん養機能又は山地災害防止機能が重視される森林194haの再造林等を実施したことにより、森林の若返りや年齢構成の平準化が図られるとともに、広葉樹林化など多様な森林資源への誘導も期待される。

(2) 里山林整備事業

【森林保全課】

事業概要

里山林において地域住民が行う、野生動物の生息域との間の緩衝帯の整備や森林づくりへの意識の醸成、森林と人との絆の回復を図るための身近な森林の整備を支援する。

○令和元年度実績

環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木整理） 48件 80ha（14市町村）
(H30実績：43件 80ha（20市町村）)



緩衝帯整備の様子



剥皮被害防止作業の様子

○累計実績（平成28～令和元年度）

・環境整備（緩衝帯整備、景観整備、危険木処理） 累計155件 265ha

事業成果

48団体（14市町村）が行った緩衝帯整備、景観整備、危険木整理80haに対して支援を行い、里山林の獣害対策や地域住民の森林づくりへの意識醸成につながった。

(3) 森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う。

○令和元年度実績

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。

森林整備地域活動支援：228ha（H30実績：100ha）

○累計実績（平成23～令和元年度）

森林整備地域活動支援：37,006ha

事業成果

森林経営計画の作成や施策集約化の促進等の活動に対する支援を行った。平成23年度から令和元年度までの9年間の森林整備地域活動支援等により、令和元年度は89,720haの森林で森林経営計画が作成され、計画的かつ一体的な森林施策の推進が図られた。

(4) 森林環境適正管理事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの森林クラウドシステムへの移行を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用し、県民へ情報を発信する。

○令和元年度実績

・森林情報（GIS）活用推進事業

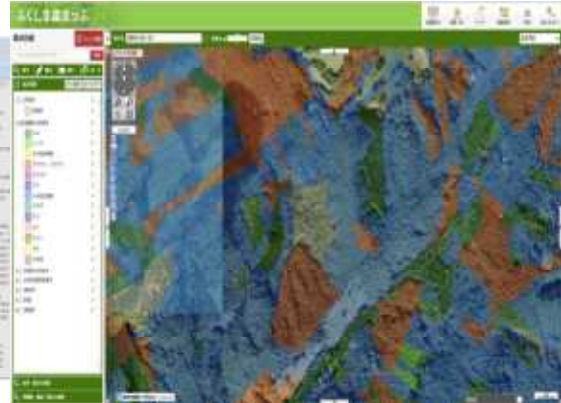
森林情報を管理する①森林クラウドシステムの導入、②森林GISのシステム保守・改修・運用、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。

ふくしま森林クラウドシステムの導入 1件

ふくしま森まっぷアクセス件数 1,270,597件（H30実績：1,047,604件）



「森林クラウド」による森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」による森林情報の表示

○累計実績（平成18～令和元年度）

森林GIS開発 平成18～20年度
 ふくしま森林クラウドシステムの導入 令和元年度
 ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）
 アクセス件数 累計約535万件

事業成果

ふくしま森林クラウドシステムの導入を行った。
 また、年間を通して福島県森林GISの保守・改修・運用及びふくしま森まっぷにより各種森林情報の発信を行った。

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課・林業振興課】

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未
 利用材の搬出を支援する。

○令和元年度実績

- ・ 間伐材運搬経費支援事業 500円/m³ 12,800m³ (H30実績：12,800m³) 【林業振興課】
 - ・ 林内作業路整備支援事業 500円/m 49,500m (H30実績：45,800m) 【森林整備課】
- 間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等へ
 の間伐材の運搬を支援した。



作業路を利用した間伐材の搬出



林内作業路の開設

○累計実績（平成18～令和元年度）

山土場から原木市場までの運搬支援 H18～R1 268,171m³
 間伐材搬出に必要な林内作業路整備 H18～R1 679,338m

事業成果

これまで搬出が十分に進んでいなかった、間伐材等未利用材が原木市場へ搬出されたことで、間伐材の利用拡大が図られた。
また、林内作業路の整備による間伐材搬出促進により、これまで未利用材として林内に残置されていた間伐材の利用拡大を図られた。

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す。

○令和元年度実績

- ・森林整備促進路網整備事業 4,200円/m 4,500m (H30実績：4,570m)
水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の開設状況



作業道の開設状況

○累計実績（平成23～令和元年度）

耐久性のある作業道の開設 H23～R1 63,182m

事業成果

平成23年度から令和元年度までの9年間で63,182m（猪苗代湖約1.3周分）の作業道が開設され、森林整備と間伐材の搬出が促進された。このことにより、水源かん養機能・山地災害防止機能の回復と資源の有効活用が期待される。

(7) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業

【林業振興課・建築指導課】

事業概要

地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO2排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。

○令和元年度実績

- ・緑の住宅普及支援事業【林業振興課】
県産材の良さや利用の意義をPRするため、各種イベントにおける県産材住宅モデル等の展示や家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施した。
 - ①県産材住宅モデル等の展示（イベント出展3回）
WOODコレクションほか 来場者35,347名（H30実績：3回11,900名）
 - ②家づくりワークショップ等（4回開催） 参加者537名（H30実績：5回 234名）
 - ③家づくり講演会（1回開催） 参加者 18名（H30実績：1回 13名）
- ・木質バイオマスでCO2ダイエット事業【林業振興課】
ア間伐材等二酸化炭素削減支援
県内木材バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援を実施した。 1,000円/t 40,000 t (H30実績：1,000円/m³ 40,000m³)
イ木質バイオマス利用ストーブ普及支援

木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援を行った。

ペレットストーブ27台、薪ストーブ73台、補助額：5万円/台

(H30実績：ペレットストーブ27台、薪ストーブ73台、補助額：5万円/台)

・ **ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】**

県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等を対象とした技術セミナー等を実施した。

木造建築普及促進セミナー 5回開催 参加者142名 (H30実績：6回 206名)

福島県木造住宅耐震診断技術講習会 1回開催 参加者24名 (H30実績：1回 37名)

・ **ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業【建築指導課】**

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当(被災者等・県外移住者・子育て世帯は30万円相当)の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：171棟(うち被災者等への補助は18棟、県外移住者1棟、子育て世帯117棟)

(H30実績：145棟(うち被災者等への補助は24棟))



イベントでの県産材PR



家づくりワークショップ



木質バイオマス利用ストーブ普及支援



県産材を活用した住宅

○ **累計実績**

・ **木めぐり探検事業(平成28～令和元年度)**

見学体験ツアー H28～H30 11回 参加者 291名

・ **緑の住宅普及支援事業(平成22～令和元年度)**

ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者 300名

県産材住宅モデル等の展示 H22～H29 29回

家づくりワークショップ等の開催 H22～H30 74回 参加者3,583名

ふくしまの住まい作品展 H28 県内7方部で実施 参加者 700名

家づくり講習会 H29～30 4回 参加者 86名

・ **木質バイオマスでCO2ダイエット事業(平成23～令和元年度)**

県内木材バイオマスエネルギー利用施設への
燃料用間伐材の搬出・運搬支援 H24～R1 281,942m3

木質バイオマス利用ストーブ H23～R1 606台
(内訳 ペレットストーブ187台、薪ストーブ415台、兼用4台)

・ **ふくしま木の家・担い手応援事業(平成26～令和元年度)**

担い手ネットワーク登録者数 H26～H28 121名

技術力向上に係るセミナー、研修等 H26～R1 35回 参加者1,289名

・ **ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業(平成25～令和元年度)**

補助実績 H25～R1 1,055棟(うち被災者等への補助240棟、県外移住者5棟、子育て世帯202棟)

事業成果

- ・木材関係団体や家づくりグループとの連携による県産材のPR活動を展開し、県内外の消費者や建築関係者等へ県産材の良さや利用する意義の理解促進を図った。
- ・事業体や個人に対する補助を通じて、木質バイオマスの燃料としての有効利用について、県民の理解が深まった。
- ・県内の大工・工務店や設計者を対象としたセミナーや技術講習会等の開催により、木造建築に係る自己研鑽の機会が提供され、技術力の向上と伝統技術の継承が図られています。
- ・県産木材を活用し県内工務店が建築した木造住宅の補助棟数は、子育て世帯の割合が多く、若い世代で木造住宅の快適さが認知され、県産木材を利用する意義についても意識の醸成が図られています。

(8) もっともっと木づかい推進事業

【林業振興課・一般廃棄物課】

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大を図る。

○令和元年度実績

・木景観形成促進事業

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。(3か所)(H30実績:3か所)

- ①三春の里田園生活館(三春町) 舞台
- ②大町中央公園(会津若松市) 休憩小屋内装木質化
- ③JR只見駅(只見町) 物販所の一部を木質化

・木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座、林業祭での木工工作教室を実施した。

木工工作用資材配布 87校(約5,000人)、出前講座11か所18回(約600人)
(H30実績:92校 出前講座8箇所 10回)

・木材製品需要拡大技術導入事業

新たな木材需要の創出に繋がる新用途・新技術の開発や普及啓発活動を支援した。

県産木材を利用した天井野縁ユニットの開発ほか 計3件(H30実績:2件)

・ふくしま県産材で東京2020大会サポート事業

「東京2020大会選手村ビレッジプラザ」建設工事に県産材を提供するとともに、県内の小中学生が製作に携わった木製ベンチを大会関連施設に設置し、国内外に対して県産材をPRした。

県産材の提供数量 113m³(スギ79m³、ヒノキ34m³)

県産材による木製ベンチの製作 250脚

・木製食器で木づかい事業【一般廃棄物課】

木製食器等の利用促進を食べ残しゼロ協力店で行う。

県産材木製認定証製作 300個(H30実績:400個)

認定証配布店舗 161店(H30実績:274店)



内装の木質化



木工教室

○累計実績(平成23~令和元年度)

・木景観形成促進事業(平成24~令和元年度)

民間団体等による県産材を活用した施設整備 30か所

- ・新「ほっと」スペース創出事業（平成23～29年度）
公共建築物等への県産材製品の設置・展示 59か所
- ・木とのふれあい創出事業（平成24～令和元年度）
木工工作用資材提供 856校、出前講座の実施 80校
- ・CLT等新技術導入実践事業（平成27年度）
実証事業等 2件
- ・木材製品需要拡大技術導入事業（平成28～令和元年度）
新技術の開発と普及活動 10件
- ・ふくしま県産材でオリンピック応援事業（平成30、令和元年度）
県産材の提供数量 113m³（スギ79m³、ヒノキ34m³）
県産材による木製ベンチの製作 250脚
- ・木製食器で木づかい事業（平成30年度、令和元年度）
県産材木製認定証製作 700個
認定証配布店舗 433店
県産材木製食器導入 1店舗（木製プレート40枚、丸器20個 外）

事業成果

- ・木材を活かしたデザインや景観をつくりだすことにより、一般県民等に県産材利用の普及が図られた。
- ・小学生や中学生を対象に木材利用の意義について理解を深めてもらい、将来の木材利用や木づかいへの普及を図った。
- ・県産スギ材の新たな部材としての活用や、県産材（スギ、ヒノキ）を用いた建築構法の認定取得等、民間事業者の創意工夫により、県産材の様々な利活用の可能性が広がった。
- ・関係機関等と連携しながら、東京2020大会の選手村ビレッジプラザに用いる建築部材を納入し、県産材の安全性や品質等をPRした。
また、関連施設に設置するための木製ベンチの製作にあたり、県内の小・中学校71校の児童、生徒が携わり、ものづくりの楽しさや、木材利用の意義等を深めてもらうことができた。
- ・木製食器については高価格などの理由により協力店への導入は進まなかったが、環境に優しい取組である食品ロス削減に積極的な飲食店等に木製認定証を掲出してもらうことにより、県産材の効果的なPRを行うことができた。

（9）地域林業技術伝承事業

【林業振興課】

事業概要

地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。

○令和元年度実績

・地域林業技術伝承事業

各地域の特性を活かした多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援した。

支援団体 流域林業活性化センター 3団体（H30実績:2団体）

・林業研究グループ交流促進事業

林業技術や特色ある取組を伝承・普及する県内の林業研究グループの活動を促進した。

支援団体 県内林業研究グループ 6団体（H30実績:5団体）



きのこ原木生産技術講習会（田村市）



林業研究グループによる研修会（三島町）

事業成果

地域の特性を生かした施業技術の実証試験や林業技術の伝承・普及を支援することで、地域における林業の課題解決と振興に貢献した。

県内の林業研究グループの活動を促進したことにより、県民を対象とした林業研究グループが持つ林業技術等の普及が図られた。

○累計実績（平成28～令和元年度）

・地域林業技術伝承事業（平成28～令和元年度）

支援団体 延べ13団体

・林業研究グループ交流促進事業（平成29～令和元年度）

支援団体 延べ17団体

3 市町村が行う森林づくりの推進

(10) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

○令和元年度実績

・森林環境基本枠

59市町村（H30実績：59市町村）

①県民参画の推進 34市町村（H30：34市町村）

県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等

・「誕生祝い品贈呈事業」生まれた赤ちゃんに木製玩具の贈呈（国見町）等

②森林の適正管理推進 8市町村（H30実績：6市町村）

森林整備のための協定締結、現地調査・測量

・森林景観整備の実施に向け所有者との協定を締結（郡山市）等

③森林環境学習の推進 57市町村（H30実績：59市町村）

森林環境学習実施校 小学校295校、中学校87校、計382校 全670校の57%

（H30実績：小学校351校、中学校107校、計458校 全678校の68%）

人数 小学校23,693人 中学校 7,056人 計30,749人（全135,913人の23%）

（H30実績 小学校32,278人 中学校 9,197人 計41,475人 全139,661人の30%）

・フォレストパークにおいて、間伐等の体験学習（福島第三小学校）等

④森林整備の推進 37市町村、88ha（H30実績：39市町村、89ha）

間伐、野生生物との共生林整備、等

・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備32ha 8町村（H30実績：34ha）



県民参画の推進（新地町）



森林環境学習の推進（柳津町）

・地域提案重点枠

21市町村、47件（H30実績：20市町村、39件）

- ①県産材の利活用推進 20市町村、39件 (H30実績：19市町村、32件)
 小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机・椅子等の導入、など
 ・町立石川小学校への県産材木製机・椅子の導入(石川町) など
- ②木質バイオマスの利活用推進 2市、3件 (H30実績：1市、2件)
 ペレットストーブ導入 合計5台 (H30実績：合計10台)
 薪ストーブ導入 合計1台 (H30実績：合計0台)
 ・大戸中学校へのペレットストーブ導入(会津若松市) など
- ③その他 3市町 5件 (H30実績：4市町村、5件)
 「会津・漆の芸術祭2019」の開催(会津若松市) など



展望デッキの設置 (福島市)



木製椅子の導入 (鮫川村)

○累計実績 (平成18～令和元年度)

・森林環境基本枠

- ①県民参画の推進実施 H18～R1 50市町村
- ②森林の適正管理実施 H18～R1 29市町村
- ③森林環境学習実施 H18～R1 全59市町村
延べ5,189校
- ④森林整備実施 H23～R1 50市町村、間伐、危険木除去等1015ha

・地域提案重点枠

- ①森林整備実施 H18～H22 47市町村 210件 (間伐等1,087ha)
- ②県産材の利活用推進実施 H18～R1 51市町村 492件
- ③木質バイオマスの利活用推進実施
 H18～R1 28市町村 82件
 (ペレットストーブ258台 薪ストーブ10台)
- ④その他の取組実施 H18～R1 12市町村 51件
 (漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等)

事業成果

交付金を活用することにより、これまでに森林環境基本枠については全59市町村が県民参画や森林環境学習の推進などに取り組み、地域提案重点枠については51市町村が県産材の利活用推進や木質バイオマスの利活用推進などに取り組み、市町村との連携のもと、県民一人一人が参画する森林づくりを効果的に進めることができた。

4 県民参画の推進

もり

(11)花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

森林環境に配慮した再生林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。

○令和元年度実績

・花粉の少ない森林づくり推進事業

苗木養成1,200本、台木植栽300本、配布苗木61本 (H30実績：苗木養成2,900本、配布苗木148本)



花粉症対策品種のさし付け状況



コンテナ苗の育成状況

○累計実績（平成23～令和元年度）

- ミストハウス（発根促進施設）整備 H23
- 少花粉スギ採種園 H26, H30 造成0.69ha
- 無花粉スギ採種園 H26 造成0.1ha
- 特定母樹のスギ採種園 H28, 29 造成0.47ha
- 花粉症対策品種のさし付け H24～R1 34,591本
- 苗木配布 H25～H29, R1 1,381本

事業成果

令和元年度までに、中通り（林業研究センター）と会津地方（会津園場（喜多方市））に花粉症対策品種等の採種園を計1.26haを造成したことにより、稼働後は福島県内全域に少花粉スギ実生苗の供給が可能となり、花粉症対策に寄与することが期待される。

(12) 林業普及推進事業

【林業振興課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。

○令和元年度実績

・普及推進事業

森林・林業・木材産業のPR（チラシ14,000枚、ポスター650枚作成、配布）

○累計実績（平成22～30年度）

林業祭 H22～H30 来場者累計34,200人

事業成果

森林・林業の重要性や役割、林業の現状や魅力などを県民に対し発信するためのPR活動を実施したことにより、県民の森林・林業・緑化に対する意識が高まった。

(13) 森林環境学習の森整備事業

【森林保全課】

事業概要

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

○令和元年度実績

・森林学習フィールド整備事業

施設名：県民の森 森林整備 間伐0.76ha ほか

（H30実績：県民の森 森林整備 間伐1.07ha ほか）

・全国植樹際記念の森整備事業

森林整備 2箇所



危険木処理状況



森林整備実施状況

○累計実績（平成23～令和元年度）

- ・ 県有林フィールド整備事業 平成23～令和元年度
 - 6施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）
 - 間伐、除伐、危険木除去等 32.42ha
 - 木製手すり設置 58.2m 案内板等設置
 - 木製階段 75段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m
- ・ 歩道バリアフリー化事業 平成23～26年度
 - 2施設（県民の森、緑化センター）
 - 木質系チップ舗装歩道 330m
 - バリアフリー歩道 L=150m、木質舗装211m²
- ・ 森林環境学習の森整備事業（平成28～29年度）
 - 2施設（県民の森、舟津県有林）
 - 下刈り、除伐 6.02ha 主伐 1.0ha
 - 遊歩道 186m
- ・ 全国植樹祭記念の森整備事業
 - 森林整備 2箇所

事業成果

県民の森において森林整備を実施し、県民が安全に森林とふれあい・学習するためのフィールドを整備し、利用者の安全確保を図るとともに、森林・林業への理解の促進につながった。
 また、お手植えの森整備やお手播きの森整備事業を行い、第69回全国植樹祭によって培われた森林づくり意識の引き継ぎを図った。

(14) 森林づくり総合対策事業

【森林保全課】

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。

○令和元年度実績

- ・ 未来へつなげよう豊かな森林づくり事業
 - ア 森林ボランティア団体活動推進事業
 - 森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した9団体に対して支援した。
(H30実績：7団体)
 - イ 森林ボランティアサポート事業
 - 森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

(ホームページアクセス件数(H31.4~R1.3) 70,817件)
(H30年度ホームページアクセス件数: 90,796件 対前年比: 78%)

ウ もりの案内人養成事業

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。養成講座受講者28名、認定者23名。
(H30実績: 養成講座受講者25名、認定者19名)

エ グリーンフォレスター養成事業

森林ボランティアリーダー育成講座を開催しグリーンフォレスターの認定を行った。
養成講座受講者4名、認定者2名 (H30実績: 養成講座受講者8名、認定者6名)

・みんなで支えよう森森(もりもり)元気事業

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備において、活動の支援を行うとともに企業等とづくりの協定を締結した。協定締結3件 (H30実績: 協定4件)



もりの案内人養成講座の様子



企業による森林づくり

○累計実績(平成18~令和元年度)

・未来へつなげよう豊かな森林づくり事業

ア 森林ボランティア団体活動推進事業(平成18~令和元年度)

森林ボランティア団体支援 175団体

イ 森林ボランティアサポート事業(平成18~令和元年度)

ホームページアクセス件数 900,333件

ウ もりの案内人養成事業(平成18~令和元年度)

もりの案内人養成者数 297人(前身事業も含めた累計は582人)

エ グリーンフォレスター養成事業(平成30年度~令和元年度)

(旧名称 森林ボランティアリーダー育成事業)(平成18~29年度)

グリーンフォレスター認定者 55人(前身事業も含めた累計は126人)

・みんなで支えよう森森(もりもり)元気事業(平成29~令和元年度)

(旧名称 カーボンオフセット森森(もりもり)元気事業)(平成22~28年度)

森林づくり活動協定締結 30件 59.1ha

事業成果

未来へつなげよう豊かな森林づくり事業では、県内各地域において自主的に森林整備活動を実施している森林ボランティア等7団体の活動を支援することにより、県民参加による森林づくり運動の推進が図られた。

また、森林ボランティアに関する総合的な窓口として「森林ボランティアセンター」を開設し、広く県民に森林ボランティアに関する情報を発信し、森林整備の知識や技術を身につけることを目的とした研修会を実施して、森林づくりに対する意識醸成を図った。

そして、森林の役割や重要性を県民に伝える「もりの案内人」を養成することにより、森林環境学習や自然観察等の森林づくり活動の推進が図られ、次世代を担う子どもを中心に県民の緑化意識の高揚が図られた。

さらに、森林整備に関する専門的知識と技術を要する「グリーンフォレスター」を育成する養成講座を開講して、県内で活動する森林ボランティア団体等に技術指導を行う人材の養成を図った。

みんなで支えよう森森(もりもり)元気事業では、企業に対して森林づくり活動の普及啓発を行ったことにより、県民の森林づくり意識の醸成が図られた。

(15) 県立学校における森林環境学習推進事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

○令和元年度実績

実施校数 会津農林高校ほか 計10校 人数 693名 (H30実績：10校)

取組事例

地域の山林において間伐作業などを実施し、豊かな森林資源を体感する中で地域の自然を理解し、森林が地域社会に果たしている役割を学習した。(南会津高校)



会津農林高校・演習林実習



福島工業高校（定時制）・伐採作業の様子

○累計実績（平成18～令和元年度）

実施校数 H18～R1 延べ100校

事業成果

森林関係の講師を招聘した学習、伐採作業や枝打ち体験など森林の保全に関する学習、間伐材や森林資源の活用に関する学習、山野草の移植を通して地域の森林の再生を図るなど環境保護に関する学習などの事業を実施した。10校、合計693名の生徒が事業に参加した。

もり

(16) ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業

【森林計画課・森林保全課】

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信を図る。

○令和元年度実績

・森林環境情報発信事業 【森林計画課】

新聞広告、ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。また、森林認証制度の普及及び林業事業体の認証取得に向けた取組を支援した。

ポスター 1,300枚、パンフレット 15,000部 森林環境税PR割箸 600本

県産材コースター220個 森林環境学習下敷き作成 10,000枚

県政ラジオ番組2回 県政テレビ番組1回 新聞広告1回（福島民報、福島民友新聞）

森林認証取得・継続補助件数 17件

・若者の森林自己学習支援事業【森林計画課】

県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習を支援した。

実施団体 森林自己学習取組学生グループ 5団体

林ゼミナール会津研究班（福島大学）

女子大学生と職人さんがコラボの技術・知識を未来へ届けるプロジェクト（郡山女子大学）

ナチュラルライフスタイル部こおりやま開成の杜復活プロジェクト（郡山女子大学）

福島学院大学アウトドアスポーツクラブ (福島学院大学)
 只見の森と本「たもかく」プロジェクト (桜の聖母短期大学)
 学生グループの支援 1 団体
 アカデミア・コンソーシアムふくしま



森林環境税パンフレット



若者の森林自己学習の様子

○累計実績 (平成25～令和元年度)

・森林環境情報発信事業 (平成25～令和元年度)

- 新聞記事掲載 7回
- 県政広報テレビ放映 9回
- テレビ・ラジオCM 合計694回
- 森林環境税PRパンフレット、ポスター作成
- 合計 パンフレット 206,000部、ポスター 6,800枚
- 森林環境税PR鉛筆4,400セット 森林環境税PR割箸3,000セット
- 森林環境学習下敷き作成 35,000枚

・森林づくり活動推進事業 (平成25年度)

- 森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名
- 「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ (H25.12.20)

・森林づくり県民運動推進事業 (平成26～30年度)

- 森林づくり活動ワークショップ 3か所
- シンポジウム 2か所
- 全国植樹祭PR活動 84箇所
- 全国植樹祭連携イベント 32箇所
- 苗木のスクールステイ 県内小学校131校
- 苗木のホームステイ 個人世帯73世帯、企業団体90団体

事業成果

新聞広告や県民へのパンフレット等の配布により、本県の森林の概要や良さ、森林林業に関する取組など森林環境に関する情報を発信することで、ふくしまの森林に関する関心と理解の拡大により、県民参加による森林づくりをさらに加速させることができた。

(18) 森林・水循環推進事業

【復興・総合計画課】

事業概要

健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。

○令和元年度実績

- 森林・水資源等を活かした相互交流会の開催
- 福島県水環境活動交流会 21団体 参加者50名 (H30実績：19団体 参加者57名)
- 夏井川沿い水辺ウォーキング 参加者45名
- ステップアップ講座 参加者21名 (H30実績：参加者21名)

- 鮫川の水と生き物を学ぶ 参加者29名
- 累計実績（平成28～令和元年度）
- | | |
|----------------------|--------------|
| 森林・水資源等を活かした相互交流会の開催 | |
| 福島県水環境活動交流会 | 73団体 参加者194名 |
| 全国河川愛護団体交流会 | 21団体 参加者78名 |
| 水を育む森林環境学習発表会 | 参加者154名 |
| ステップアップ講座 | 参加者98名 |
| 交流行事、体験ツアー | 5回 参加者165名 |
| 流域水循環に関する協議の場の開催 | 計18回開催 |



ステップアップ講座



夏井川沿い海辺ウォーキング

事業成果

森林・水資源を生かした相互交流会を開催し、令和元年度の交流行事参加者は145名となった。流域における森林・水環境教育の実践により、健全な水環境の推進が図られた。

(19) エコ七夕事業

【環境共生課】

事業概要

未就学児の地球環境を想うやさしい心を育成をするために、幼稚園・保育園・こども園でエコに関する願い事をする七夕イベントを実施する。

○令和元年度実績

- | | | | |
|------------|---------------------------------|-----------|------------------------|
| エコ七夕実施園数 | 101園 | 参加者5,837名 | (H30実績：100園 参加者4,894名) |
| もりの案内人派遣園数 | 10園 | 参加者340名 | (H30実績：10園 参加者311名) |
| エコ七夕in県庁 | 三春町北保育所（三春町） | 参加者30名 | |
| | (H30実績：学校法人まゆみ学園認定こども園まゆみ（二本松市） | 参加者32名 | |



県庁エコ七夕



もりの案内人指導の木工体験

事業成果

幼稚園・保育園・こども園で七夕イベントを実施し、小学校入学前の子どもたちの地球環境を想うやさしい心の育成を図った。

○累計実績（平成28～令和元年度）

エコ七夕実施園数

17³⁷¹園 参加者 20,208名

実施園のうち、もりの案内人派遣園数 35園 参加者 1,088名
 実施園のうち、エコ七夕in県庁実施園数 4園 参加者 155名

5 ふくしまの森林文化の継承

(20) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人との絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○令和元年度実績

・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】

県内森林文化を記録した映像の作成し県HP及びYoutubeで公開するとともに、森林文化公開体験イベントを開催した。

記録映像2本（あがりこ、会津桐【後編】）（H30実績：2本）

YouTube閲覧数（1章～22章） 467,484件（R2.8.25時点）

体験イベントの開催（フォレストパークあだたら）

「里山を知る」体験展示 1回 来場者12,236名

体験プログラム 4回 参加者 173名

森林文化出前講座 5回開催

上川崎和紙 参加者10名

ふくしまの森の風景 参加者16名

山御講 参加者37名

編み組細工 参加者20名

上川崎和紙 参加者15名

・木（森）に由来する伝統文化継承事業 【林業振興課】

木（森）に由来する伝統文化継承事業体験イベント

伝統文化を継承するための研修・体験イベント及び新たな製品の開発支援をした。

漆の草木染めワークショップ（会津若松市、喜多方市）2回 参加者延べ137名

漆の意見交換会（会津若松市） 22名

桐の意見交換会（会津若松市） 23名

桐の利用研修（会津若松市） 47名

漆掻き職人育成研修 4回（会津若松市） 研修生5名（H30実績：5回）

1回（茨城県常陸大宮市） 参加者13名（H30実績：1回）

野生きのこ試食会（調理見学会）（郡山市） 参加者100名（H30実績：100名）

会津産桐を使用した壁紙の開発



漆の掻き子育成研修



きのこ料理実演・試食会

○累計実績

・ふくしまの森林文化継承事業（平成24～令和元年度）

森林文化公開体験イベント開催 H24～H27, H29～R1 17回

森林文化調査カード公開 H24～H28 125件（H18からの累計実績175件）

森林文化記録映像公開 H18～R1 21テーマ21本

森林文化出前講座 H30～R1 9回

・木（森）に由来する伝統文化継承事業（平成25～令和元年度）

伝承文化継承イベント開催 H25～R1 19回 参加者784名

伝承文化継承研修会 H28～R1 34回 参加者112名

野生きのこ料理教室・試食会
技術開発

H28～R1
H28～R1

8回 参加者383名
4件

事業成果

・これまでに実施した本県の森林文化の調査結果を175件の調査カードに取りまとめ、「森のくらし」をテーマに21章の森林文化記録映像を作成し、ホームページでの公開や森林文化体験イベントの実施等で、ふくしまの森林文化を広く発信した。
・桐の栽培者や、漆掻き職人を育成することで、次世代への知識や技術の習得に寄与した。
また、漆掻き職人の育成や草木染により、漆に関する知識や技術の伝承に寄与した。
さらに、特用林産物を利用したイベントの実施や機能性の高い製品の開発により、県産特用林産物の魅力や新たな利用方法について、幅広い世代に周知することができた。

6 森林環境の調査

(21) 森林環境等調査発信事業

【森林計画課】

事業概要

県民に身近な森林の現況や、木造施設などにおける木材の良さを調査し、その結果を、県民に向け周知することで、県民に対し森林や木材とふれあう動機付けを行うとともに、森林を守り育てる意識の醸成を図る。

○令和元年度実績

- ・ 幼保施設における木のよさ調査を実施した。

幼保施設の木製設備導入状況調査

書面調査 19施設、現地調査 10施設

木のよさPRチラシ作成 8,000部

PRチラシを「木との触れあい創出事業」で木工教室を実施した県内小学校へ配布



内装木質化状況（伊南保育所）



木製テーブル及び椅子（田島保育園）

○累計実績

- ・ 巨樹巨木調査 222本 H28～H29
- ・ 木のよさ調査 小学校延べ6校（H28、H29年度）
- ・ 木製設備導入調査 小中学校 書面調査29校 現地調査10校（H30年度）
幼保施設 書面調査19校 現地調査10校（R元年度）
- ・ PRチラシの作成・配布（木のよさPRチラシ41,000部、巨木PRチラシ35,000部）

事業成果

森林環境交付金事業で整備した公共木造施設における木のよさ調査の結果をとりまとめたPRチラシを作成し、小学校における森林環境学習活動等に活用することで、森林・林業に対する子ども達の理解を深め森林を守り育てる意識の醸成が図られた。

7 森林環境基金の運営

(22) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を考える懇談会」を運営する。

○令和元年度実績

・森林の未来を考える懇談会運営事業

森林の未来を考える懇談会を4回開催した。

第1回（令和元年6月17日）

- ・平成30年度事業の実績について
- ・令和元年度事業の実施について
- ・森林づくりの提言（案）について（非公開）

第2回（令和元年8月22日）

- ・森林づくりの提言（案）について

第3回（令和2年2月4日）

- ・森林環境税を活用した取組に対する評価と今後について
- ・森林づくりタウンミーティングの開催結果について
- ・市町村・関係団体アンケートの実施結果について

第4回（令和2年3月24日）

- ・令和元年度森林環境基金事業の実績見込について
- ・令和2年度森林環境基金事業の概要について
- ・森林環境税を活用した取組に対する意見について

○累計実績

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業（平成18～令和元年度）

懇談会開催 H18～R1 50回

- ・森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）

森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2回 発表題数16題

- ・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（令和元年度）

森林づくりタウンミーティング 8回 参加者合計309名

森林環境税に関する県民アンケート 回答数9,489件

市町村・関係団体アンケート 1回

県民意見公募1回

事業成果

これまで委員10名で構成する「森林の未来を考える懇談会」を50回開催し、取組に対する意見や評価等について検討していただくことで、県民の参画と透明性を確保することができた。